

**問** 白岡中周辺と東武動物公園駅西口開発は

東武動物公園駅西口は駅から0分、地権者は東武鉄道。好条件にもかかわらず商業施設は計画段階で進んでいない。今の時代の大型商業施設の不可能性を示しているのではないか。コンサルの情報は、また視察など容易にできるのではないか。

**答** 市民や企業の意向を分析し取組を進める

白岡中学校周辺区域では、市街化区域への編入が具体化してくれば、進出を検討する企業の引合いが活発化してくると見込まれる。関係権利者の意向はもとより、市民の要望、事業者側の意向などを分析して、本区域に望ましい土地利用となるよう取組を進めていく。



遠藤 誠 議員  
(清明会)

**問** 生涯学習センター周辺の飲食への対応は

施設の検討段階でも、飲食できる施設に強い要望があった。施設の中へ作れとは言わないが、土曜日曜のこもれびの森などのイベントも含めてこの周辺での飲食の提供は不足していると思われる。この周辺への飲食業の起業を促すことはできないのか。

**答** 創業ニーズに応じて情報提供をしていく

生涯学習センター周辺は、昼夜間人口の差が大きく、商圈としての購買力はないものと推測される。今後、飲食店などの出店に関する相談があった場合には、関係課と調整し、立地の可能性などについて創業希望者に対し、適宜情報提供を行っていく。



**問** さらなる住民サービスの向上を

新白岡駅東口の市役所連絡所建設計画の現状は。市内全域に対応できる移動型市役所(市民サービスカー)の導入を検討してはどうか。証明書発行だけでなく、近くで相談できる窓口の存在も必要である。今後の新たな住民サービスについて伺う。

**答** 住民サービス向上の方策を調査研究する

新白岡駅東口の市有地は、社会状況の変化や市の財政状況をふまえて、売却も視野に入れた検討を行っている。新たなサービスの導入には、十分な検証が必要である。市民が身近で気軽に手続きを行えるよう住民サービスの向上につながる方策を調査・研究していく。



野々口眞由美 議員  
(TSUNAGU)

**問** 悩みを抱えた子どもの支援の改善を

悩みを抱える子どもによる相談が年々増加しているにもかかわらず、さわやか相談員の勤務時間を削減。また、学校・さわやか相談員・教育支援センター・SSW\*が連携し支援する体制があるものの、機能していないのではないか。現状と改善策を伺う。

**答** 学校・関係機関との連携を深めていく

市ではSSWを教育支援センターに配置し、学校からの依頼を受け派遣している。今後も学校や関係機関との連携を深め、児童生徒やその家庭に対して必要な支援を行うことができるよう、教育相談の充実に努めていく。



\*SSW スクールソーシャルワーカーのこと